

Title	オンライン授業報告書(SDGsに関する大阪大学実績報告書) 目次
Author(s)	
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/81411
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

目 次

まえがき	i
はじめに：「オンライン授業報告書(SDGs に関する大阪大学実績報告書)」	林田雅至 1
I. オンライン授業：綺羅星の登壇者たち	
コロナ禍と学生生活の場	矢島裕章 15
コミュニケーションスタイルが変われども	田中志緒理 22
多文化コミュニケーション考 —— 林田雅至先生の退職に寄せて ——	印南敬介 29
林田先生にオンライン登壇の機会を頂いて	福井洋 36
外国人への言語的サポート現状とこれから —— 医療通訳者の役割と各種デバイスの活用 ——	藤野美香 39
戦後パラグアイ移民の現状 学齢期子ども移民の生きた道	高橋勝幸 55
国際協力・SDGs 普及啓発事業「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」のこれまでとこれから	佐野光平 82
あいりん地域における健康支援 —— 結核対策を中心に ——	井戸武實 112
結核の基礎知識	安本理抄 118
縁(えにし)が紡ぎ出す共創空間～リアルな共創からオンラインの共創へ～	岡本栄理 128
ポケットークによる外国人支援(資料)	溝尾嘉章 131
オンライン授業に参加して	藤田尚子 145
オンライン授業に参加して	辰巳詠子 149
受講生のコメント	152
II. オンライン授業：極めるアナリストたち	
キャリア教育における大学と企業の連携のあり方	家島明彦 179
オンライン授業を巡る諸問題 —— 2020 年度共通教育科目の実践から ——	相場美紀子 188
コロナ禍による留学生の出入国制限とオンライン授業からの学び	安藤由香里 198
コロナ禍下における大学教育の現状と今後の展望～対面式授業とオンライン授業～	菊池隆之助 215
ふれあい天文学～コロナ禍で見えてきた学校現場の課題とは ICT 環境の整備～	太田めぐみ 227
III. 社会課題に向き合う良人たち	
ポルトガル語辞典校訂に協力して — いささかの反省と雑感	岸和田仁 233
国際舞台の裏方で	奥野雅生 239
共生の導く先へ	日高悠登 253
2011 年・2020 年	菱田伊駒 262

先生と言語を巡る思い	上村秀樹	265
「第二言語を学ぶ時期と脳の関係」について	飛瀬マリア・ジュリア	270
日本における外国人診療 ―― 医療通訳者の育成 ――	南谷かおり	276
欧州難民保護制度から見る日本の難民保護への示唆	安藤由香里	286
外国人技能実習制度の問題と企業による取り組みについて～「ビジネスと人権」の観点より～	古川智祥	303

IV. 林田雅至の履歴書

林田 雅至 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)		339
100歳の巨匠マヌエル・デ・オリヴェイラ v.s. 欧州綺羅星の製作者パウロ・ブランコ		340
ポルトガルの装飾絵タイル・アズレージョ芸術への誘い		343
中南米名曲物語 2: 彼女はカリオカ (ブラジル・リオ生まれ)		345
続編・聖ロクス(胸元刻印紅色十字架)崇敬		348
僕の中の多民族主義礼讃		352
マルコ・ポーロ 翻刻版解説(石見銀山世界遺産登録記念)		353
医療をめぐる Language Barrier Free ～ことばの壁を越える～ 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)		357
洪庵塾に遊ぶ「観光学」の全貌を知ろう		360
林田雅至主要文献目録		361